

す。そこで当講座ではを開きました。

岐阜県小児在宅医療実

また、医学部医学科

# 研究から

携わる医師の育成、障必要とする重症心身  
がい児者医療の在り 障がい児が増え、N-I  
方の研究、障がい児者 CU（新生児集中治療  
医療の普及啓発を目的室）等からの在宅移行  
として開設されまし 支援が注目されていま  
た。

す。

## 「支える医療」へ医師を育成

を進めています。

今年で3回目となり

当寄付講座は2011  
當寄付講座は2011  
育成についてお話ししま  
す。小児医療の進歩と  
より、また小児病態学  
ともに従来救命でき  
講座を協力講座とし  
て、重症心身障がい及  
の生存が可能となり、  
しかしながら障がい  
参加し、岐阜県にお  
び発達障がいを対象と  
児者医療に関わる医師  
し、障がい児者医療に  
呼吸器等の医療ケアを  
し不足している状況で  
宅医療の連携の端緒

技術講習会を開催し、小  
1年生では障がいを持  
つ方の保護者にお話を  
聞く医学概論、3年生  
医師を対象に気管カ  
ニヨーレ交換や胃瘻交  
では発達障害に関する  
換等小児在宅医療に必  
要な知識や技術の習得  
を進めています。

生に対する障がい児者  
医療教育に力を入れ、  
医師、理学療法士等)が  
「支える医療」にも関わることが  
可能となる。  
かかる基礎をもつ医師  
ける顔の見える小児在  
の育成に努めています。



院の外の施設での障が  
い児者医療の臨床実  
習等を通して医学部学  
生に対する障がい児者  
医療教育に力を入れ、  
は多職種(医師、看護  
師、理学療法士等)が  
参加し、岐阜県にお  
でできる基礎をもつ医師  
ける顔の見える小児在  
の育成に努めています。